

物理的性状：水は標準温度、標準圧力で液体である。水は気圧によるが、0°Cの凍結温度で氷となり、100°Cの標準沸点で気化する。沸騰水より蒸気の潜熱は有意に高いことから、蒸気の形で気化した水は殺菌用に用いられる。

化学的性状：精製された水のpHは中性で、導電率及び有機体炭素（TOC）は非常に低い。しかし、pH、導電率、有機体炭素（TOC）は保存条件、空気中に気体として蒸発する水によって影響を受ける。大気中のCO₂に水が曝露されると水のpHが低下する。プラスチック容器に水を保存すると時間の経過とともに水中の有機体炭素が増加する。ガラス容器に保存した水は時間とともに水の電導率、pHが上昇することになる。

一般事項：次の一般事項は選択した添加物の特性を一定に確保するために有益となる：注射<1>、医薬品用水<1231>、健康用途水<1230>、細菌エンドトキシン試験<85>、総有機体炭素<643>及び水の伝導度<645>

用途：賦形剤

概要：凍結乾燥医薬品に用いられる賦形剤又は充填剤には種々の糖類、糖アルコール、アミノ酸及び重合体が含まれている。充填剤の本質的な機能は破裂による薬物の損失を防ぎ、崩壊のない完全な構造のすばらしい製剤の凍結乾燥品を提供することにある。さらに、効率的な乾燥を促進するため、そして物理化学的に安定なマトリックス製剤を提供するために充填剤の選択を行う。機能を改善するために充填剤の補完的な併用がしばしば行われる。

マンニトールのような「良好な塊形成（good cake forming）」と呼ばれる添加物は、凍結中に結晶化して効率的な乾燥がえられ、頑強な構造の塊が形成することから、しばしば用いられる。一部の有効成分では、凍結乾燥中に結晶化して安定性の改善に寄与する。従って、凍結乾燥中に結晶化を促進する充填剤の使用は重要である。この効果を得るためにアミノ酸と共溶媒が用いられる。バイオポリマーのほとんどの有効成分は凍結乾燥で非結晶質を保つため、二糖類のような充填剤は凍結や乾燥中の変質を防ぎ、安定な非結晶質相を維持する凍結保護剤として働く。不溶性で結晶質の有効成分の溶解度を向上させるためにバイオポリマーを時々使用して、溶解度の向上や凍結乾燥又はその後の再構成中における有効成分の結晶化を防ぐ。また、充填剤はバイオ適合性、緩衝能及び張性変更特性に基づいて選択する。

用途と機序：凍結乾燥中に迅速に結晶化する充填剤は最初の乾燥中に形成される塊（ケーキ）の構造的な完全性維持に役立つ、その結果、肉眼的な崩壊や製剤の不具合を防ぐ。製剤における非結晶質成分の崩壊が顕微鏡的に認められる可能性（いくつかの好ましくない結果の可能性）はあるが、充填剤の特性と濃度が適切であれば、肉眼的な崩壊は避けられる。また、充填剤は氷との高い共融液温度を持ち、迅速で効率的かつ均一的な乾燥を相対的に高い一次乾燥温度で可能にしなければならない。

凍結乾燥賦形剤（換言すると凍結乾燥中に原薬を保護するもの）の凍結保護特性は一般的に高い粘度のガラス相を形成することで発現するため、精製白糖、トレハロース、特定のアミノ酸のような低分子量の非結晶質の単糖類をバイオポリマー原薬と一緒に入れる。一般的なたんぱく質医薬品製剤では、迅速に結晶化する糖アルコールと非結晶質賦形剤を混合する、この混合物は凍結保護剤として働く。

物理的性状：充填剤は凍結乾燥前に水性液で溶解する。従って、化学的純度、汚染微生物の存在及び発熱性物質（ピロゲン）がバルク添加物にとって不可欠な特性となる。しかし、物理的性状及びバルク添加物の粒子の性状は一般的に凍結乾燥製剤の最終特性と関連性はみられない。

凍結乾燥中及びその後の製剤の特性に不可欠な物理的性状は、乾燥前の非結晶質凍結濃縮物のガラス相転移温度、最終乾燥製剤塊（ケーキ）のガラス転移温度、氷と結晶充填剤の共晶融液温度である。製剤のガラス相転移温度は個別の成分、濃度及び相互関連のガラス相転移温度に依存する。概算値は個々の成分に報告された転移温度に基づいて見積もることができるが、最新の実施方法は凍結乾燥顕微鏡の熱分析による製剤のガラス相転移温度測定である。

凍結乾燥中及びその後の充填剤の物理的状態は重要な物理的性状となる。製剤成分及び製造工程のパラメータは、いずれも充填剤が非結晶質となるか、特定の結晶質となるかを決定する役割をもつ。例えば、マンニトールは凍結乾燥中に容易に結晶化するにもかかわらず、製剤成分により非結晶質になることや水和物又は準安定多形として結晶化することもできる。凍結速度、乾燥温度、アニーリング（凍結融解）は製剤とその成分の物理的性状の管理に用いる製造工程の重要なパラメータである。また、凍結乾燥後の保湿及び吸着は、製剤の安定性及び特性の一因となる。

化学的性状：その他の処方成分、特に有効成分に関して充填剤の反応性は重要意味をもつ。糖を減量すると芳香族及び脂肪族アミンと反応をすることが良く知られている。グリコールは微量の過酸化値が含まれると酸化的分解反応が開始する。バイオポリマーと水素結合を形成する単糖類及び多価アルコールのできることは、その融解保護効果の役割を演じることである。

一般事項：次の一般事項は選択した賦形剤の特性を一定に確保するために有益となる：注射<1>、バイオテクノロジー応用品目<1045>、製剤処方、結晶化度<695>、溶液熱量測定法による結晶化度分布<696>、医薬品製剤形<1151>及び製剤系における水-固体相互作用<1241>

用途：等張化剤

概要：液剤の注射、点眼、又は点鼻を行った場合、異型赤血球（Crenation）や赤血球の溶血を避け、疼痛や不快感を緩和するために液剤は等張圧にしなければならない。このことは注射用液剤の実効浸透圧は血液の浸透圧と大体同じ状態であることを求めている。医薬品製剤は眼粘膜、鼻粘膜、膣粘膜等に投与される時、液剤はこれらの組織と等張にしなければならない。

用途と機序：緊張度（Tonicity）とは粘膜の浸透圧に及ぼす最大溶質濃度の合計に等しく、全体の浸透圧に影響する。透過性の溶質と非透過性の溶質の両方を考慮して、緊張度は浸透圧に対比する溶媒内の非透過性溶質にも適用する。例えば、尿素は透過性の溶質で細胞膜を自由に透過するため、液剤の緊張度を決めるときのファクターではない。対照的に塩化ナトリウム（NaCl）は非透過性で、濃度勾配の助けなくして粘膜を透過することができないため、液剤の緊張度に寄与する。

物理的性状：塩化ナトリウム、ブドウ糖液、乳酸リンゲル液は等張化剤を含む代表的な医薬品処方である。すべての液剤が緊張度に寄与するものではないが、一般的に溶質粒子の種類ではなく、溶質粒子数が影響を与える。例えば、モル対モルで塩化ナトリウム液は同じモル濃度のブドウ糖液より浸透圧は高い。これはブドウ糖が溶解するとき1粒子を保持しているが、塩化ナトリウムが溶解するときは、 Na^+ と Cl^- の2粒子となる。

化学的性状：等張化剤はイオン型、非イオン型で存在する。イオン型等張化剤の事例として、アルカリ金属や土類金属、塩化カルシウム、臭化カリウム、塩化カリウム、塩化リチウム、沃化ナトリウム、臭化ナトリウム、塩化ナトリウム、硫化ナトリウム、ホウ酸

などのハロゲン化物がある。非イオン型等張化剤にはグリセリン、ソルビトール、マンニトール、プロピレングリコール、デキストロース等が含まれる。

一般事項： 次の一般事項は選択した添加物の特性を一定に確保するために有益となる：注射<1>、バイオテクノロジー応用品目<1045>、製剤処方、製剤形<1151>及び処方調剤における原薬の計算<1160>

吸入剤

用途：噴射剤

概要： 噴射剤は化合物で、常温状態で気体である。これらは医薬品（鼻腔内噴霧剤、吸入剤、外用剤）、化粧品及び食品で用いられ、容器から内容を強く噴射する。

用途と機序： 噴射剤成分は低沸点の液体で、有効成分や添加物に対して相対的に不活性である。それら3つの特性は常温で実用的な圧力における液相の形成、製剤の残余との溶解度と混和性並びに引火性で特徴付けられる。これらの特性は、製剤の使用期間を通して想定内の適切な圧力を提供できる能力を判断する。

噴射剤は製剤で液相と気相の両方が存在する場合、液相に一定の圧力を与え、密封容器の上部空間の圧力で気相と液相を平衡状態に維持する。対照的に液相のない噴射剤の圧力は容器の内容物を放出して相対的に迅速な変化がみられる。密封容器の上部空間が大きくなると、それに比例して容器内の圧力は下がる。液相を持たないが、噴射剤以外の製剤と圧力に相関する有意な溶解度の噴射剤では、その2つのシステム間の特性が特徴となる。そのような場合、密閉容器の上部空間が増加すると噴射剤はシステムの圧力を維持するため液体から放出される。

定量吸入器では、噴射剤は液相で医薬品製剤を噴射する不可欠な成分である。絞り弁を作動させて、液体成分を一定の量で噴射させる。噴射剤は自然に沸騰、霧化して推進力を提供する。密閉容器の上部空間が増加すると噴射剤は液相からシステムの平衡圧力を回復するため気化し、活性濃度で想定内の変化を噴霧の最初から容器の最終使用時まで維持する。

物理的性状： 噴射剤は常温未満で沸点となる。密度及び溶解度特性は噴射剤を選択するときに十分な検討を行う。アパフルラン (apafurane) 及びノルフルラン (norflurane) は液相密度が水より高い。炭化水素噴射剤 (ブタン、イソブテン、プロパン) 及びジメチルエーテルは液相密度が水より低い。

化学的性状： 噴射剤は一般的に安定な物質で製剤の有効期限の長期化の一因となる。しかし、炭化水素噴射剤 (ブタン、イソブテン、プロパン) 及びジメチルエーテルは全て可燃性物質である。アパフルラン、二酸化炭素、窒素、ノルフルランは不燃性である。亜酸化窒素は可燃性ではないが、酸化を助ける。クロロフルオロカーボン噴射剤はオゾン消費物質であることを考慮する。これを食品、医薬品、機器、化粧品に用いるには米国規制基準 21 CFR 2.125 で規制されている。クロロフルオロカーボン噴射剤で処方されているアルブテロール定量吸入器は2009年1月1日より米国では認められていない。

一般事項： 次の一般事項は選択した添加物の特性を一定に確保するために有益となる：エアゾール、鼻腔内噴霧器、定量吸入器及びドライパウダー吸入器<601>、クロマトグラフィー<621>及び水分測定<921>

■2S (USP33)

追加情報：米国薬局方（USP）に問い合わせる前にFAQであなたの質問をチェックしてください。

| 題目/質問 | 問い合わせ先 | 専門家委員会 |
|-------|---|------------------------------------|
| 一般事項 | Robert H. Lafaver, M.S. Scientific Liaison 1-301-816-8345 | (EGC05) Excipient General Chapters |

Pharmaceutical Forum: Volume No. 35(5) Page 1228

| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アジピン酸ジイソプロピル | |
|--------------------------------|----------|------------------|---------|
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;ローション | 20% | 一般外用剤 | 120mg/g |
| 局所;溶液 | 17% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アスコルビン酸 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 筋肉注射 | 1% | 筋肉内注射 | 1.68g |
| 静脈 | 62.50% | 静脈内注射 | 2.8g |
| 静脈;パウダー;注射、注射溶液 | 0.20% | | |
| 静脈;パウダー;注射、注射溶液、凍結乾燥 | 0.09% | | |
| 静脈;注射、溶液 | 0.20% | | |
| 静脈(輸液);注射 | 50.40% | | |
| 経口;カプセル | 7mg | | |
| 経口;濃縮物 | 0.60% | | |
| 経口;懸濁液 | 0.20% | | |
| 経口;シロップ | 1.25% | | |
| 経口;錠剤 | 28.44mg | | |
| 経口;錠剤、フィルム被覆 | 20mg | | |
| 皮下;注射 | 1% | 皮下注射 | 10mg |
| 局所;ゲル | 0.30% | 一般外用剤 | 1mg/g |
| 局所;溶液 | 0.04% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アセチルトリプトファン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 静脈;注射 | 0.02% | 静脈内注射 | 461mg |
| | | アセチルトリプトファンナトリウム | |
| | | 静脈内注射 | 536.5mg |
| | | 皮下注射 | 215mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アセトン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;ローション | 10% | 一般外用剤 | 392mg/g |
| 局所;シャンプー | 13% | | |
| 局所;溶液 | 12.69% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アラビアゴム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 頬/舌下;錠剤 | 9.1mg | 舌下適用 | 9.6mg |
| | | アラビアゴム末 | |
| | | 舌下適用 | 460mg |
| 経口;カプセル、徐効薬 | 11.77mg | 経口投与 | 498mg |
| 経口;パウダー | 80% | | |
| 経口;パウダー、経口用懸 | 64.80% | | |
| | | アラビアゴム末 | |
| 経口;錠剤 | 70mg | 経口投与 | 1800mg |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース)、被覆されていない咀嚼剤 | 80mg | | |
| 経口;被覆錠剤 | 156mg | | |
| 経口;錠剤、徐放性、腸溶剤皮 | 10mg | | |
| 経口;錠剤、フィルム被覆 | 14.9mg | | |
| 経口;錠剤、反復作用錠 | 11.542mg | | |
| 経口;錠剤、徐効 | 34.4mg | | |
| 経口-20、錠剤 | 33.5mg | | |
| 経口-21、錠剤 | 5mg | | |
| 経口-28、錠剤 | 5mg | | |

| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アラントイン | |
|--------------------------------|----------|---------------------------|---------|
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;乳剤、クリーム | 1% | 一般外用剤 | 1mg/g |
| 局所;ゲル | 0.20% | | |
| 膣;乳剤、クリーム | 2% | | |
| | | アラントイン・dl-ピロリドンカルボン酸ナトリウム | |
| | | 一般外用剤 | 2mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アルギン酸 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 眼;座剤、挿入、コントロールリリース | 1mg | 眼科用剤 | 1mg/g |
| 経口;カプセル | 80mg | 経口投与 | 984mg |
| 経口;錠剤 | 32mg | | |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース)、被覆されていない咀嚼剤 | 400mg | | |
| 経口;錠剤、被覆 | 60mg | | |
| 経口;錠剤、フィルム被覆 | 52.8mg | | |
| 経口;錠剤、徐効薬 | 22.25mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アルギン酸ナトリウム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;カプセル | 80mg | 経口投与 | 2.4g |
| 経口;懸濁 | 0.12% | | |
| 経口;シロップ | 0.30% | | |
| 経口;錠剤 | 20mg | | |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース)、フィルム被覆 | 320mg | | |
| 経口;錠剤、コントロールリリース | 262mg | | |
| 経口;錠剤、徐効 | 350mg | | |
| 経口;錠剤(即時型)、フィルム被覆 | 240mg | | |
| 経口;トローチ | 64.309mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アルギン酸プロピレングリコールエステル | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;粉末 | 50.25% | 経口投与 | 360mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アルファチオグリセリン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 筋肉内;注射 | 1% | 筋肉内注射 | 25mg |
| 静脈;注射 | 1% | 静脈内注射 | 125mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アルブミン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;錠剤、フィルム被覆 | 4.5mg | 経口投与、 | 2.6mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | アルモンド油 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;;乳剤、クリーム | 2% | 一般外用剤 | 525mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 安息香酸 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 伝染性単核球症—静注;注射 | 5% | 静脈内注射 | 44mg |
| 静注(輸液);注射 | 64.80% | | |
| 静注(輸液);注射 | 64.80% | | |
| 筋肉;溶液、注射 | 0.20% | 筋肉内注射 | 44mg |
| 経口;濃縮物 | 1.25% | 経口投与 | 80mg |
| 経口;溶液 | 0.50% | | |
| 経口;溶液、エリキシル | 0.50% | | |

| | | | |
|----------------------------------|-----------------|------------------|---------------|
| 経口 ; 懸濁 | 0.10% | 経口投与 | 80mg |
| 経口 ; シロップ | 0.753% | | |
| 直腸 ; ゲル | 0.14% | 直腸膣尿道適用 | 1mg、/g |
| 直腸 ; 懸濁 | 0.10% | | |
| 膣 ; 乳剤、クリーム | 0.25% | | |
| 膣 ; スポンジ | 3mg | | |
| 局所;乳剤、クリーム | 0.25% | 一般外用剤 | 4mg/g |
| 局所 ; ゲル | 0.10% | | |
| 局所 ; ローション | 0.20% | | |
| 局所 ; 溶液 | 0.10% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 安息香酸ナトリウム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 歯科;ゲル | 0.08% | 歯科外用及び口中用 | 0.7mg/g |
| 伝染性単核球症—静注; 注射 | 10% | 静脈内注射 | 40mg(点滴) |
| 静脈;注射 | 0.07% | | |
| 静注(輸液) ; 注射 | 5% | | |
| 筋肉内; 注射 | 5% | 筋肉内注射 | 20mg |
| 筋肉内; 溶液,注射 | 4.80% | | |
| 経口 ; カプセル | 0.3mg | 経口投与 | 2200mg |
| 経口 ; カプセル, 硬化ゼラチン | 0.11mg | | |
| 経口;濃縮 | 0.20% | | |
| 経口;ドロップ | 0.30% | | |
| 経口; 懸濁用 | 10mg | | |
| 経口; 細粒, FOR 再形成 | 10mg | | |
| 経口; 細粒、懸濁用 | 10mg | | |
| 経口;液体 | 0.50% | | |
| 経口; 粉体、懸濁用 | 3.60% | | |
| 経口; 粉体, FOR 再形成 | 0.10% | | |
| 経口; 粉体、溶液 | 9.33% | | |
| 経口; 粉体、懸濁用 | 8% | | |
| 経口; 溶液 | 1.08% | | |
| 経口; 溶液, エリキシル | 0.50% | | |
| 経口; 粉体、液体 | 0.10% | | |
| 経口; 懸濁 | 3.79% | | |
| 経口; 懸濁, ドロップ | 0.24% | | |
| 経口; 懸濁, 液体 | 0.20% | | |
| 経口 ; シロップ | 5% | | |
| 経口 ; 錠剤 | 0.75mg | | |
| 経口 ; 錠剤 (即時型/複合型リリース) 被覆なし, 起泡 | 60mg | | |
| 経口 ; 錠剤, 被覆 | 9mg | | |
| 経口 ; 錠剤, 徐法性, 腸溶性被覆 | 0.34mg | | |
| 経口 ; 錠剤, フィルム被 | 0.02mg | | |
| 経口 ; 錠剤, 溶液用 | 5mg | | |
| 直腸; かん腸 | 0.10% | 注腸 | 1560mg |
| 直腸; ゲル | | | |
| 局所; 乳剤 | | 一般外用剤 | 5mg/g |
| 局所; 乳剤、クリーム | 0.20% | | |
| 局所; 貼付 | 0.44mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 安息香酸ベンジル | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 筋肉内; 注射可能 | 20% | 筋肉内注射 | 371mg、 |
| 筋肉内; 注射 | 46% | | |
| 筋肉内; 溶液、注射 | 15% | | |

| | | | |
|--------------------------|-----------|---------------------|----------|
| 経口;カプセル | 0.6084mL | 経口投与 | 5.6mg |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | イソステアリルアルコール | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;乳剤、クリーム | 3% | 一般外用剤 | 30mg/g |
| 局所;ローション | 25% | | |
| 局所;懸濁 | 2.50% | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | イソステアリン酸 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;乳剤、クリーム | 25% | 一般外用剤 | 60mg/g |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ラノリンアルコール | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;乳剤、クリーム | 6% | 一般外用剤 | 200mg/g |
| 局所;軟膏 | 3.01% | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ココアミドジエタノールアミン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;エアゾール、定量式 | 3% | ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド | |
| 局所;乳剤、クリーム | 4% | | |
| 局所;シャンプー | 3.50% | | |
| 局所;溶液 | 4% | | |
| 局所;スポンジ | 20.2mg | | |
| 局所;懸濁 | 4% | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ジエタノールアミン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 静脈(輸液);注射 | 1.50% | 静脈内注射 | 12mg |
| 局所;乳剤、クリーム | 0.30% | 一般外用剤 | 19mg/g |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | フェノキシエタノール | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;;クリーム、増強 | 0.50% | 一般外用剤 | 1.2mg/g |
| 局所;乳剤、クリーム | 0.50% | | |
| 局所;ゲル | 0.70% | | |
| 局所;ローション | 0.70% | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | カルボキシメチルセルロース | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| | | カルメロース | |
| 経口;;懸濁 | 6.40% | 経口投与 | 950mg |
| 経口;錠剤 | 3mg | | |
| 経口;カプセル | 70mg | | |
| 局所L;貼付 | 6.14mg | 一般外用剤 | 24mg/g |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | カルボキシメチルセルロース カルシウム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;カプセル、ハードゼラチン | 36mg | カルメロースカルシウム | |
| 経口;錠剤 | 29mg | | |
| 経口;錠剤、徐法性、腸溶性被覆 | 13.3mg | | |
| 経口;錠剤、フィルム被覆 | 241.842mg | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | カルボキシメチルセルロース ナトリウム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| | | カルメロースナトリウム | |
| 歯科、ジェル | 0.40% | 歯科外用及び口中用 | 99.7mg/g |
| 歯科、ペースト | 174mg | | |
| 関節内;注射 | 0.50% | | |
| 滑液嚢内;注射 | 0.10% | その他の注射 | 30mg |
| 軟組織;注射 | 0.50% | | |
| 筋肉内;注射 | 3% | 筋肉内注射 | 50mg |
| 筋肉内;注射、微小球状体 | 1% | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|----------|---------|---------|-------------------------|--------|
| 筋肉内; 粉末, 注射 溶液用, 凍結乾燥 | 3% | 筋肉内注射 | 50mg | | |
| 鼻; スプレー, 定量式 | 0.15% | 吸入剤 | 5mg/mL | | |
| 経口; カプセル | 160mg | 経口投与 | 4.3g | | |
| 経口; カプセル 腸溶性 被覆 粒剤 | 4.2mg | | | | |
| 経口; カプセル, 徐効性 | 0.469mg | | | | |
| 経口; ドロップ | 0.51% | | | | |
| 経口; 細粒 | 25.7mg | | | | |
| 経口; 細粒, 懸濁用 | | | | | |
| 経口; 粉末, 溶液用 | 0.26% | | | | |
| 経口; 粉末, 懸濁用 | 2% | | | | |
| 経口; 溶液 | 3.50% | | | | |
| 経口; 懸濁 | 3.75% | | | | |
| 経口; 懸濁, ドロップ | 0.10% | | | | |
| 経口; シロップ | 2.65% | | | | |
| 経口; 錠剤 | 48mg | | | | |
| 経口; 錠剤 (即時型/複合型リリース) 被覆なし, 咀嚼 | 24.75mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 被覆 | 2.2mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 15mg | | | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 50mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 155mg | | | | |
| 局所; ジェル | 35mg | | | 一般外用剤 | 60mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | | | エチルセルロース | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口; カプセル | 6mg | 経口投与 | 489mg | | |
| 経口; カプセル 持続放出 | 21.887mg | | | | |
| 経口; カプセル, 徐効性 | 39.2mg | | | | |
| 経口; カプセル 徐効性, ハード ジェル ATIN | 27.04mg | | | | |
| 経口; 微粒, 懸濁用 | 85mg | | | | |
| 経口; 錠剤 | 120.8mg | | | | |
| 経口; 錠剤 (即時型/複合型リリース) 被覆なし, 咀嚼 | 8.8mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 被覆 | 20mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐法性, 腸溶性 被覆 | 53.8mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 80mg | | | | |
| 経口; 錠剤 フィルム被覆 | 83mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 経口LY 崩壊 | 17.46mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 308.8mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, 被覆 | 15.15mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, フィルム被覆 | 52.5mg | | | | |
| 経口-28; 錠剤 | 1.05mg | | | | |
| 局所; 貼付 | 2.53mg | | | 一般外用剤 | 2mg/mL |
| 経皮; フィルム, コントロールリリース | 80.4mg | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | | | ヒドロキシプロピル メチルセルロース 2208 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | | | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 頬; 錠剤 | 2.25mg | ヒプロメロース | | | |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.50% | 眼科用剤 | 3.5mg/g | | |
| 経口; カプセル | 3.5mg | 経口投与 | 480mg | | |
| 経口L; 微粒, 腸溶性 被覆 | 33.2mg | | | | |
| 経口; 錠剤 | 50mg | | | | |

| | | | |
|----------------------------|-----------|----------------------------|--------|
| 経口;錠剤,持続放出 | 17mg | 経口投与 | 480mg |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ヒドロキシプロピル メチルセルロース 2910 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 眼;溶液 | 0.50% | ヒプロメロース | |
| 眼;懸濁 | 0.50% | 眼科用剤 | 3mg/g |
| 眼;懸濁,ドロップ | 0.50% | | |
| 経口;カプセル | 40.5519mg | 経口投与 | 1g |
| 経口;カプセル 徐法性 | 33.42mg | | |
| 経口;カプセル,腸溶性 被覆 粒剤 | 13.82mg | | |
| 経口;カプセル,持続放出 | 3.78mg | | |
| 経口;カプセル,ハードゼラチン | 2mg | | |
| 経口;カプセル,徐効性 | 10.88mg | | |
| 経口;カプセル,徐効性,ハードゼラチン | 4.772mg | | |
| 経口;粉末,FOR 再形成 | 1.59% | | |
| 経口;粉末 懸濁用 | 3% | | |
| 経口;懸濁 | 0.50% | | |
| 経口;シロップ | 0.45% | | |
| 経口;錠剤 | 54mg | | |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース),フィルム被覆 | 16.76mg | | |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース),被覆なし,咀嚼 | 11.8mg | | |
| 経口;錠剤,被覆 | 7.5mg | | |
| 経口;錠剤,コントロールリリース | 20mg | | |
| 経口;錠剤徐法性,腸溶性被覆 | 19mg | | |
| 経口;錠剤,腸溶性 被覆 砂粒 | 445mg | | |
| 経口;錠剤,持続放出 | 150mg | | |
| 経口;錠剤,フィルム被覆 | 60mg | | |
| 経口;錠剤,多層,被覆 | 22mg | | |
| 経口;錠剤,経口LY 崩壊性,除法性 | 7mg | | |
| 経口;錠剤,徐効性 | 250mg | | |
| 経口;錠剤,徐効性,被覆 | 6mg | | |
| 経口;錠剤,徐効性,フィルム被覆 | 54mg | | |
| 経口-21;錠剤 | 0.75mg | | |
| 経口-28;錠剤 | 0.75mg | | |
| 経口;カプセル,徐効性 | 100.4mg | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ヒドロキシプロピル メチルセルロース 酢酸 コハク酸 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;カプセル | 44.6mg | 経口投与 | 366mg |
| 経口;カプセル 徐法性 | 66.78mg | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ヒドロキシプロピル メチルセルロース フタル酸 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;カプセル | 16.8mg | ヒプロメロースフタル酸エステル 200731タイプ | |
| 経口;カプセル,被覆ペ | 13.26mg | 経口投与 | 504mg |
| 経口;カプセル,腸溶性 被覆 粒剤 | 76.4mg | ヒプロメロースフタル酸エステル 220824タイプ | |
| 経口;カプセル,徐効性 | 19.63mg | 経口投与 | 175mg |
| 経口;細粒,懸濁用 | 302.4mg | | |

| | | | |
|--------------------------------|----------|-------------------------------|---------------------------|
| 経口;錠剤 | 65mg | 経口投与 | 175mg |
| 経口;錠剤徐法性,腸溶性被覆 | 44.57mg | | |
| 経口;錠剤,腸溶性被覆砂粒 | 119.4mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | メチルセルロース | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 頬/舌下;錠剤 | 4mg | 舌下適用 | 8mg |
| 眼;溶液 | 0.16% | 眼科用剤 | 5mg/g |
| 経口;カプセル | 13.5mg | 経口投与 | 607.5mg |
| 経口;カプセル,持続放出 | 2.67mg | | |
| 経口;カプセル,徐効性 | 3.2mg | | |
| 経口;粉末,懸濁用 | 1.19% | | |
| 経口;懸濁 | 0.03% | | |
| 経口;錠剤 | 183.6mg | | |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース)、被覆されていない咀嚼剤 | 50mg | | |
| 経口;錠剤,被覆 | 138.3mg | | |
| 経口;錠剤,フィルム被覆 | 21mg | | |
| 経口;錠剤,徐効性 | 96mg | | |
| 経口-28;錠剤 | 15mg | | |
| 局所;乳剤、クリーム | 1.30% | 一般外用剤 | 70mg/g |
| 局所;ローション | 1.50% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール 1000(マクロゴール1000) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;乳剤,エアゾール、フォーム | | 一般外用剤 | 2mg/g |
| 局所;乳剤,クリーム | 7.20% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール1500(マクロゴール1500) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;軟膏 | 5% | 一般外用剤 | 765mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール1540(マクロゴール1540) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;溶液 | 3.36% | 経口投与 | 2mg |
| 局所;軟膏 | 38% | 一般外用剤 | 248mg/g |
| 局所;溶液 | 29.70% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール200(マクロゴール200) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所;軟膏 | 39% | 一般外用剤 | 200mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール20000(マクロゴール20000) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;カプセル | 18mg | 経口投与 | 23.2mg |
| 経口;カプセル,ハードゼラチン | 13.5mg | | |
| 経口;錠剤 | 0.3mg | | |
| 経口;錠剤,徐法性,腸溶性被覆 | 0.008mg | | |
| 経口-28;錠剤 | 0.3mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール300(マクロゴール300) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 静脈;注射 | 65% | 静脈内注射 | 4875mg/体表面積m ² |
| 静注(輸液);注射 | 65% | | |
| 経口;錠剤 | 1mg | 経口投与 | 20mg |
| 経口;錠剤,フィルム被覆 | 1.5mg | 一般外用剤 | 450mg/g |
| 局所;軟膏 | 57% | | |

| | | | |
|-----------------------------|-----------|-----------------------------|---------|
| 局所L; 溶液 | 29.70% | 一般外用剤 | 450mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール3500(マクロゴール3500) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | | 経口投与 | 20.5mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール400(マクロゴール400) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 伝染性単核球症-静注; 注射 | 20.30% | 静脈内注射 | 3.2g |
| 伝染性単核球症-静注; 溶液, 注射 | 18% | | |
| 静脈; 注射 | 11.25% | | |
| 静注(輸液); 注射 | 11.25% | | |
| 経口; カプセル | 500mg | 経口投与 | 2.31g |
| 経口; カプセル, 被覆, ソフトゼラチン | 103.55mg | | |
| 経口; カプセル, 持続放出 | 1.7mg | | |
| 経口; カプセル, ソフトゼラチン | 960.78mg | | |
| 経口; カプセル, 徐効性, ハードゼラチン | 1.7mg | | |
| 経口; 濃縮 | 60% | | |
| 経口; 溶液 | 60% | | |
| 経口; 懸濁 | 5% | | |
| 経口; シロップ | 0.05% | | |
| 経口; 錠剤 | 105.065mg | | |
| 経口; 錠剤(即時型/複合型リリース), フィルム被覆 | 20mg | | |
| 経口; 錠剤, 腸溶性 被覆砂粒 | 12.5mg | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 45mg | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 5.91mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 45mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, フィルム被覆 | 1.8mg | | |
| 経口-21; 錠剤 | 0.15mg | | |
| 経口-28; 錠剤 | 0.15mg | | |
| 局所; 乳剤, クリーム | 7.50% | 一般外用剤 | 700mg/g |
| 局所; ジェル | 45% | | |
| 局所; ローション | 12% | | |
| 局所; 軟膏 | 65% | | |
| 局所; 溶液 | 69.90% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール4000(マクロゴール4000) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 関節内; 注射 | 3% | 静脈内注射 | 120mg |
| 病巣内; 注射 | 3% | 筋肉内注射 | 180mg |
| 筋肉内; 注射 | 3% | 皮下注射 | 40mg |
| 滑液嚢内; 注射 | 3% | その他の注射 | 60mg |
| 経口; カプセル | 449.6mg | 経口投与 | 1206mg |
| 経口; カプセル, ソフトゼラチン | 15mg | | |
| 経口; 錠剤 | 15mg | | |
| 経口; 錠剤, 被覆 | 2mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, 腸溶性 被覆 | 0.96mg | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 45mg | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 1.625mg | | |

| | | | | | |
|---------------------------|----------|---------------------------|------------|-------------------------------|--------|
| 経口;錠剤,多層,持続放 | 2.8mg | 経口投与 | 1206mg | | |
| 経口;錠剤,徐効性 | 454mg | | | | |
| 経口;錠剤,徐効性,フィルム被覆 | 1.8mg | | | | |
| 舌下;錠剤 | 2.5mg | 舌下適用 | 320mg/g | | |
| 局所;軟膏 | 84% | 一般外用剤 | 570mg/g | | |
| 直腸;座薬 | 1269mg | 直腸腔尿道適用 | 10g | | |
| 膣;乳剤,クリーム | 0.50% | | | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | ポリエチレングリコール600(マクロゴール600) | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口;錠剤,被覆 | | 経口投与 | 1128.8mg | | |
| 経口;錠剤,フィルム被覆 | 0.386mg | | | | |
| 局所;軟膏 | 76.50% | | | | |
| 経口;カプセル | 448.4mg | | | | |
| 経口;カプセル,ソフトゼラチン | 324mg | | | | |
| 経口;カプセル,ソフトゼラチン 液体-FILLED | 580.6mg | | | | |
| 経口;溶液 | 65% | | | | |
| 経口;錠剤 | 6mg | | | | |
| 経口;錠剤,徐効性 | 1.2mg | | | | |
| 静脈;注射 | 5% | | | 静脈内注射 | 300mg |
| 静脈;溶液,注射 | 5% | | | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | | | ポリエチレングリコール 6000(マクロゴール 6000) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | | | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口;カプセル | 10mg | 経口投与 | 750mg | | |
| 経口;カプセル,持続放出 | 1.56mg | | | | |
| 経口;カプセル,ハードゼラチン | 450mg | | | | |
| 経口;カプセル,徐効性 | 17.46mg | | | | |
| 経口;錠剤 | 375mg | | | | |
| 経口;錠剤(即時型/複合型リリース),フィルム被覆 | 0.322mg | | | | |
| 経口;錠剤,被覆 | 40mg | | | | |
| 経口;錠剤,徐法性,腸溶性被覆 | 0.6mg | | | | |
| 経口;錠剤,持続放出 | 1.4mg | | | | |
| 経口;錠剤,フィルム被覆 | 30mg | | | | |
| 経口;錠剤,徐効性 | 12.5mg | | | | |
| 経口;錠剤,徐効性,被覆 | 0.5mg | | | | |
| 経口;錠剤,徐効性,フィルム被覆 | 0.322mg | | | | |
| 経口-21;錠剤,被覆 | 2.148mg | | | | |
| 経口-28;錠剤 | 0.2024mg | | | | |
| 経口-28;錠剤,被覆 | 2.148mg | | | | |
| 局所;軟膏 | 1% | | | 一般外用剤 | 75mg/g |
| 直腸;座薬 | 128mg | | | 直腸腔尿道適用 | 4.05g |
| 膣;錠剤 | 3mg | | | | |
| 膣;錠剤,フィルム被覆 | 0.064mg | | | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | 塩化亜鉛 | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 皮下;注射 | 0.01% | 皮下注射 | 0.42mg | | |
| 皮下;注射 | 0.02% | | | | |
| 添加物(INACTIVE INGREDIENT) | | 塩化カルシウム水和物 | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 静脈;注射 | 0.07% | 静脈内注射 | 3.455mg/kg | | |

| | | | |
|----------------------------------|-----------------|----------------|---------------|
| 伝染性単核球症－静注; 注射 | 4% | 静脈内注射 | 3.455mg/kg |
| 静脈; 溶液, 細胞内微粒子, 注射 | 0.03% | | |
| 眼; 粉末, 溶液用 | 0.05% | 眼科用剤 | 0.16mg/g |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.01% | | |
| 経口; 濃縮 | 0.01% | 経口投与 | 150mg |
| 局所L; 乳剤, クリーム | 0.25% | 一般外用剤 | 3.2mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 塩化第二鉄 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 静脈; 注射 | 6.05% | 静脈内注射 | 0.2mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 塩化ナトリウム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| AN, CNBLK 鞣内; 注射 | 0.80% | その他の注射 | 425mg |
| AN, 湿潤; 注射 | 0.86% | 皮内注射 | 適量 |
| AN, 交感神経 NBLK; 注射 | 0.30% | 脊椎腔内注射 | 適量 |
| 硬膜外; 注射 | 0.90% | 皮内注射 | 適量 |
| 硬膜外; 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| 体外; 注射 | 0.90% | | |
| 腹腔内; 粉末, 注射用 溶 | 22.60% | | |
| 胸膜内; 粉末, 注射用 溶 | 22.60% | | |
| 滑液嚢内; 注射 | 0.90% | | |
| 滑液嚢内; 注射, 徐効性 | 0.90% | | |
| 鞣内; 注射 | 0.90% | | |
| 鞣内; 注射 | 4.90% | | |
| 鞣内; 注射, 懸濁, 細胞内 脂肪粒子 | 9% | | |
| 関節内; 注射 | 0.90% | | |
| 滑液内; 注射 | 0.32% | | |
| 心臓; 注射 | 0.70% | | |
| 洞内; 注射 | 0.82% | | |
| 経皮; 注射 | 0.70% | | |
| 病巣内; 注射 | 0.85% | | |
| 病巣内; 注射, 徐効性 | 0.90% | | |
| 伝染性単核球症－幹細胞; 注射 | 0.90% | | |
| 硬膜外; 注射 | 0.81% | | |
| 軟組織; 注射 | 0.85% | | |
| 軟組織; 注射, 徐効性 | 0.90% | | |
| クモ膜下; 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| 湿潤N; 溶液, 注射 | 0.85% | | |
| 粘膜下; 溶液, 注射 | 16% | | |
| 鞣内; 粉末, 注射用 溶液 | 0.14% | | |
| 鞣内; 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| 腫瘍内; 注射 | 1.20% | | |
| 脈管内; 注射 | 0.19% | | |
| 神経ブロック; 注射 | 0.90% | | |
| 神経ブロック; 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| 気管内; 注射 | 1.20% | | |
| 耳介(耳性); 溶液 | 0.90% | 耳鼻科用剤 | 9mg/g |
| 耳介(耳性); 溶液, ドロップ | 0.36% | | |
| 耳介(耳性); 懸濁, 液体 | 9% | | |
| 仙骨ブロック; 注射 | 0.90% | | |
| 歯科; 注射 | 0.60% | 歯科注射 | 適量 |
| 伝染性単核球症－静注－ 幹細胞; 注射 | 0.90% | 静脈内注射 | 9g |

| | | | |
|----------------------------------|--------|-------|-----------|
| 伝染性単核球症－静注; 注射 | 0.90% | 静脈内注射 | 9g |
| 伝染性単核球症－静注; 注射 | 90% | | |
| 伝染性単核球症－静注; 粉末, 注射 溶液用 | 9% | | |
| 伝染性単核球症－静注; 粉末, 注射 溶液用, 凍結 | 18% | | |
| 伝染性単核球症－静注; 溶液 | 0.90% | | |
| 静脈－幹細胞; 注射 | 1% | | |
| 静脈－幹細胞; 液体 | 0.70% | | |
| 静脈－幹細胞; 粉末, 注射 用 溶液 | 0.68% | | |
| 静注(輸液); 注射 | 90% | | |
| 静注(輸液); 粉末, 注射用 溶液 | 45% | | |
| 静注(輸液); 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| 静注(輸液); 懸濁, 注射 | 0.90% | | |
| 静脈 大型丸剤; 溶液, 注 | 0.90% | | |
| 静脈; 注射 | 0.90% | | |
| 静脈; 注射 | 90% | | |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液 | 45.20% | | |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液, 凍結乾燥 | 45% | | |
| 静脈; 溶液 | 0.90% | | |
| 静脈; 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| | | | |
| 伝染性単核球症－静注; 溶液, 注射 | 0.75% | | |
| 吸入; 溶液 | 3.16% | 吸入剤 | 6.67mg/mL |
| 呼吸(吸入); 溶液 | 2.70% | | |
| 呼吸(吸入); 溶液, エア ゾール, 吸入用 | 1.13% | | |
| 呼吸(吸入); 溶液, 吸入用 | 2.70% | | |
| 動脈内; 注射 | 4.90% | 動脈内注射 | 201.6mg |
| 動脈内; 粉末, 注射 溶液 | 0.14% | | |
| 動脈内; 溶液 | 0.90% | | |
| 筋肉内; 注射 | 4.50% | 筋肉内注射 | 700mg |
| 筋肉内; 注射, 徐効性 | 0.90% | | |
| 筋肉内; 粉末, 注射 用溶 | 22.60% | | |
| 筋肉内; 粉末, 注射用 溶 液, 凍結乾燥, 添加剤とし | 0.24% | | |
| 筋肉内; 溶液, 注射 | 0.90% | | |
| 眼内; 溶液 | 0.70% | | |
| 硝子体内; 注射 | 0.90% | | |
| 硝子体内; 注射 | 0.77% | | |
| 眼; 粉末, 溶液用 | 0.90% | 眼科用剤 | 7.14mg/g |
| 眼; 溶液 | 55% | | |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.90% | | |
| 眼; 懸濁 | 0.85% | | |
| 眼; 懸濁, ドロップ | 0.68% | | |
| 経口; 微粒, 懸濁用 | 13.5mg | | |
| 経口; 粉末 経口用 懸濁 | 0.10% | | |
| 経口; 粉末, 懸濁用 | 0.25% | | |
| 経口; 溶液 | 1.90% | | |
| 経口; 溶液, エリキシル | 0.10% | | |
| | | | |

| | | | | | |
|--------------------------------|----------|-------------|--------------|-------|--------|
| 経口; 懸濁 | 4.11% | 経口投与 | 240mg | | |
| 経口; 懸濁, 吸入用 | 0.85% | | | | |
| 経口; シロップ | 0.30% | | | | |
| 経口; 錠剤 | 148mg | | | | |
| 経口; 錠剤 (即時型/複合型リリース), 被覆なし, 咀嚼 | 7.5mg | | | | |
| 経口; 錠剤, コントロールリリース | 36mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 223.4mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 143.26mg | | | | |
| 直腸; 座薬 | 52.5mg | 直腸膣尿道適用 | 0.03mg/mg | | |
| 皮下; インプラント | 77mg | 皮下注射 | 540mg | | |
| 皮下; 注射 | 0.85% | | | | |
| 皮下; 注射 | 0.90% | | | | |
| 皮下; 液体 | 0.15% | | | | |
| 皮下; 溶液, 注射 | 4.50% | | | | |
| 皮下; 懸濁, 注射 | 0.80% | | | | |
| 局所; 乳剤, クリーム | 0.50% | | | 一般外用剤 | 40mg/g |
| 局所; ローション | 0.27% | | | | |
| 局所; 貼付 コントロールリリース | 3.1mg | | | | |
| 局所L; シャンプー | 2.25% | | | | |
| 局所L; 溶液 | 0.60% | | | | |
| 局所L; 懸濁 | 0.53% | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ベンザルコニウム塩化物 | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 耳介(耳性); 溶液 | 0.02% | 耳鼻科用剤 | 0.8mg/mL | | |
| 耳介(耳性); 溶液, ドロップ | 0.02% | | | | |
| 耳介(耳性); 懸濁 | 0.02% | | | | |
| 吸入; 溶液 | 20% | 吸入剤 | 0.1mg/g | | |
| 眼内; 溶液 | 0.01% | 眼科用剤 | 0.1mg/mL | | |
| 眼; ジェル | 0.01% | | | | |
| 眼; 軟膏 | 0.03% | | | | |
| 眼; 溶液 | 8.80% | | | | |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.51% | | | | |
| 眼; 懸濁 | 0.03% | | | | |
| 眼; 懸濁, ドロップ | 0.03% | | | | |
| 局所L; ローション | 0.10% | | | 一般外用剤 | 1mg/g |
| 局所L; シャンプー | 0.20% | | | | |
| 局所L; 溶液 | 0.01% | | | | |
| 局所L; 溶液, ドロップ | 0.01% | | | | |
| 局所L; 懸濁 | 0.01% | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 塩酸 | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| AN, 湿潤; 注射 | 0.64% | その他の注射 | 2.94 μ L | | |
| 神経ブロック; 注射 | 0.64% | | | | |
| 耳介(耳性); 溶液 | 0.37% | 耳鼻科用剤 | 適量 | | |
| 耳介(耳性); 溶液, ドロップ | 0.06% | | | | |
| 耳介(耳性); 懸濁 | 0.04% | | | | |
| 吸入; エアゾール, 定量式 | 1.72% | 吸入剤 | 適量 | | |
| 吸入; 溶液 | 3.50% | | | | |
| 筋肉内; 注射 | 8% | 筋肉内注射 | 30 μ L | | |
| 静脈; 注射 | 8% | 動脈内注射 | 2.94 μ L | | |
| 静脈; 注射 | 10% | | | | |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液 | | | | | |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液, 凍結乾燥 | 14.11% | | | | |
| | | | | | |

| | | | |
|-----------------------------|----------|-----------|----------------|
| 静脈; 溶液 | 1.83% | 動脈内注射 | 2.94 μ L |
| 静注(輸液); 注射 | 1.44% | | |
| 静注(輸液); 粉末, 注射用 懸濁, 凍結乾燥 | 0.83% | | |
| 伝染性単核球症-静注; 注射 | 0.02% | | |
| 静注(輸液); 溶液, 注射 | 12.70% | 眼科用剤 | 適量 |
| 眼; 溶液 | 1.06% | | |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.17% | 経口投与 | 42 μ L |
| 経口; 濃縮 | 3.10% | | |
| 経口; 溶液 | 9.51% | | |
| 経口; 懸濁 | 10% | | |
| 経口; シロップ | 0.20% | | |
| 皮下; 注射 | 0.17% | 皮下注射 | 30 μ L |
| 皮下; 懸濁, 注射 | 0.22% | | |
| 局所L; 乳剤, クリーム | 0.34% | 一般外用剤 | 4.5 μ L/mL |
| 局所L; シャンプー | 4% | | |
| 局所L; 溶液 | 1.24% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 塩酸 (希) | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| AN, 湿潤N; 注射 | 1.36% | 静脈内注射 | 26.25 μ L |
| 神経ブロック; 注射 | 1.36% | 筋肉内注射 | 12 μ L |
| | | 局所麻酔注射 | 4.2 μ L |
| 経口; 溶液 | 2.75% | 経口投与 | 0.02mL |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 塩酸システイン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液 | 0.10% | 静脈内注射 | 16.8mg |
| 静注(輸液); 注射 | 2% | | |
| 静注(輸液); 粉末, 注射用 溶液, 凍結乾燥 | 1.50% | 経口投与 | 0.5mg/kg |
| 経口; 錠剤, 徐効性, フィルム被覆 | 16.2mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | ワセリン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 眼; 軟膏 | 85% | 眼科用剤 | 適量 |
| 局所L; 乳剤 | 5.30% | 一般外用剤 | 268.3mg/g |
| 局所L; 乳剤, クリーム | 16.43% | | |
| 局所L; ローション | 2.50% | | |
| 局所L; 軟膏 | 99.98% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | 白色ワセリン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 歯科; PASTE | 64mg | 歯科外用及び口中用 | 357mg/g |
| 眼; 軟膏 | 89% | 眼科用剤 | 899mg/g |
| 局所; クリーム, 増強 | 26% | 一般外用剤 | 適量 |
| 局所; 乳剤, クリーム | 58.20% | | |
| 局所; ローション | 15% | | |
| 局所; 軟膏 | 99.98% | | |
| 局所; 軟膏, 増強 | 81.94% | | |
| 膣; 軟膏 | 88.49% | 直腸膣尿道適用 | 3120mg |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | オリブ油 | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口; 溶液 | 42.50% | 経口投与 | 450mg |
| 局所; 溶液 | 0.60% | 一般外用剤 | 584.4mg/g |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | オレイルアルコール | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 局所; 乳剤, クリーム | 10% | 一般外用剤 | 100mg/g |

| | | | | | |
|--------------------------------|----------|----------------------------|---------|--------|-------|
| 局所;軟膏 | 5% | 一般外用剤 | 100mg/g | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | オレンジ油 | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口; 溶液, エリキシル | 0.12% | 経口投与 | 0.3mL | | |
| 経口; 懸濁 | 0.05% | | | | |
| 経口; 錠剤 (即時型/複合型リリース), 被覆なし, 咀嚼 | 0.002mg | | | | |
| 経口; 懸濁 | 0.26% | | | | |
| 経口; シロップ | 0.00% | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | | | カゼインNa | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口; 錠剤 | 100mg | 経口投与 | 120mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | カラギーナン | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| カラギーナン 塩 | | | | | |
| 局所; ローション | 0.27% | 一般外用剤 | 30mg/g | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | カルミン | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| カルミン50 | | | | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 0.54mg | 経口投与 | 1.8mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | POLYOXYL LANOLIN | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 局所L; 溶液 | 0.94% | 一般外用剤 | 20mg/g | | |
| POE(75) ラノリン | | ポリオキシエチレンラノリンアルコール (5E.O.) | | | |
| 局所L; エアゾール | 1.50% | 一般外用剤 | 50mg/g | | |
| 局所L; 乳剤 | 1.50% | | | | |
| 局所L; 溶液 | 1% | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | グリチルリチン酸アンモニウム | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口; 微粒 | 3.125mg | 経口投与 | 1.25mg | | |
| 経口; 溶液 | 0.80% | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | キサンタンガム | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口; カプセル, 腸溶性 被覆 粒剤 | 75mg | 経口投与 | 240mg | | |
| 経口; ドロップ | 0.29% | | | | |
| 経口; FOR 懸濁 | 3.75mg | | | | |
| 経口; 微粒, FOR 経口 懸 | 75mg | | | | |
| 経口; 微粒, FOR 懸濁 | 15mg | | | | |
| 経口; 粉末 | 9% | | | | |
| 経口; 粉末, FOR 経口 懸 | 6.70% | | | | |
| 経口; 粉末, FOR 再形成 | 2.50% | | | | |
| 経口; 粉末, FOR 溶液 | 4.10% | | | | |
| 経口; 粉末, FOR 懸濁 | 8% | | | | |
| 経口; 懸濁 | 1.20% | | | | |
| 経口; 懸濁, 液体 | 0.23% | | | | |
| 経口; 懸濁, 徐効性 | 18.68% | | | | |
| 経口; 錠剤 | 14mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 101.2mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 経口LY 崩壊 | 0.15mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 50mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, 被覆 | 74.25mg | | | | |
| 経口; トローチ | 63.2mg | | | | |
| 直腸; かん腸 | 0.25% | | | | |
| 局所L; クリーム, 増強 | 0.22% | | | 一般外用剤 | 3mg/g |

| | | | | | |
|---------------------------|-----------|---------|--------|-------|---------|
| 局所L; クリーム, 乳剤, 持続放出 | 0.30% | 一般外用剤 | 3mg/g | | |
| 局所L; 乳剤, クリーム | 0.75% | | | | |
| 局所L; ローション | 0.18% | | | | |
| 局所L; 懸濁 | 0.11% | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | グアーガム | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 経口; 棒状, 咀嚼剤 | 40mg | 経口投与 | 500mg | | |
| 経口; カプセル | 3.3mg | | | | |
| 経口; FOR 懸濁 | 10mg | | | | |
| 経口; 粉末, FOR 懸濁 | 0.20% | | | | |
| 経口; 懸濁 | 0.49% | | | | |
| 経口; 錠剤 | 12.9597mg | | | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 35.4mg | | | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 5.04mg | | | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | クエン酸水和物 | | | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 | | |
| 心臓; 注射 | 1.05% | その他の注射 | 29.4mg | | |
| 神経ブロック; 注射 | 0.16% | | | | |
| AN, 湿潤N; 注射 | 0.16% | 静脈内注射 | 882mg | | |
| 伝染性単核球症 - 静注 - 幹細胞; 注射 | 1.26% | | | | |
| 伝染性単核球症 - 静注; 注射 | 0.05% | | | | |
| 伝染性単核球症 - 静注; 注射 | 0.36% | | | | |
| 伝染性単核球症 - 静注; 溶液 | 0.05% | | | | |
| 伝染性単核球症 - 静注; 溶液, 注射 | 0.09% | | | | |
| 静脈; 注射 | 0.05% | | | | |
| 静脈; 注射 | 52.50% | | | | |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液 | 21.90% | | | | |
| 静脈; 粉末, 注射用 溶液, 凍結乾燥 | 41.36% | | | | |
| 静脈; 溶液 | 0.16% | | | | |
| 静脈; 溶液, 注射 | 0.08% | | | | |
| 静注 (輸液); 注射 | 1.05% | | | | |
| 静注 (輸液); 溶液, 注射 | 0.14% | | | | |
| 筋肉内; 注射 | 0.50% | | | 筋肉内注射 | 137.5mg |
| 眼内; 溶液 | 0.05% | | | 眼科用剤 | 1.2mg/g |
| 眼; 溶液 | 0.05% | | | | |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.05% | 耳鼻科用剤 | 2mg/g | | |
| 鼻; 溶液 | 0.42% | | | | |
| 鼻; スプレー, 定量式 | 0.17% | 経口投与 | 1290mg | | |
| 経口; 溶液 | 0.50% | | | | |
| 経口; 懸濁 | 0.30% | | | | |
| 経口; 懸濁, 徐効性 | 14.08% | | | | |
| 経口; シロップ | 0.96% | | | | |
| 経口; 錠剤 | 50mg | | | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 10mg | | | | |
| 局所L; 乳剤, クリーム | 0.05% | | | 一般外用剤 | 10mg/g |
| 局所L; ジェル | 0.10% | | | | |
| 局所L; シャンプー | 0.24% | | | | |
| 局所L; 溶液 | 0.19% | | | | |
| 膣; 乳剤, クリーム | 0.49% | 直腸膣尿道適用 | 10.2mg | | |

| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | クエン酸カルシウム | |
|--------------------------------|----------|------------|---------|
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口; 粉末 | 42.90% | 経口投与 | 1360mg |
| 経口; 錠剤 | 98.95mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | クエン酸トリエチル | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 経口; カプセル | 8.9mg | 経口投与 | 152.8mg |
| 経口; カプセル, 徐法性 | 3.848mg | | |
| 経口; カプセル, 腸溶性 被覆 粒剤 | 9.16mg | | |
| 経口; カプセル, 持続放出 | 15.03mg | | |
| 経口; カプセル, 徐効性 | 7.5mg | | |
| 経口; カプセル, 徐効性, ハードゼラチン | 3.3mg | | |
| 経口; 微粒, 経口用懸濁 | 3.8mg | | |
| 経口; 錠剤 | 5.1mg | | |
| 経口; 錠剤 (即時型/複合型リリース), 被覆なし, 咀嚼 | 2.8mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐法性, 腸溶性 被覆 | 20.177mg | | |
| 経口; 錠剤, 持続放出 | 0.348mg | | |
| 経口; 錠剤, フィルム被覆 | 3.6mg | | |
| 経口; 錠剤, 経口LY 崩壊性, 徐法性 | 18.7mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性 | 1.6mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, 被覆 | 2.31mg | | |
| 経口; 錠剤, 徐効性, フィルム被覆 | 0.5mg | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | グルコン酸ナトリウム | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 静脈; 注射 | 2.30% | 静脈内注射 | 57mg |
| 静注 (輸液); 粉末, 注射用 溶液, 凍結乾燥 | 0.30% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | クレアチニン | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 耳介 (耳性); 溶液 | 0.50% | 耳鼻科用剤 | 12mg |
| 伝染性単核球症 - 静注; 注射 | 0.80% | 静脈内注射 | 160mg |
| 関節内; 注射 | 0.80% | その他の注射 | 20mg |
| 滑液嚢内; 注射 | 0.80% | | |
| 病巣内; 注射 | 0.80% | | |
| 軟組織; 注射 | 0.80% | | |
| 筋肉内; 注射 | 0.50% | 筋肉内注射 | 128mg |
| 眼; 溶液 | 0.50% | 眼科用剤 | 5mg/mL |
| 眼; 溶液, ドロップ | 0.20% | | |
| 添加物 (INACTIVE INGREDIENT) | | クレゾール, M- | |
| アメリカの投与経路/剤型 | アメリカの投与量 | 日本の投与経路 | 日本の投与量 |
| 伝染性単核球症 - 静注 - 幹細胞; 注射 | 0.10% | 静脈内注射 | 30mg |
| 静注 (輸液); 注射 | 0.10% | | |
| 伝染性単核球症 - 幹細胞; 注射 | 0.25% | 皮内注射 | 6mg |
| 経皮; 注射 | 0.16% | | |
| 筋肉内; 粉末, 注射用 溶液, 凍結乾燥 | 0.30% | 筋肉内注射 | 6mg |
| 皮下; 注射 | 0.32% | 皮下注射 | 30mg |